

岩国市観光施設事業経営戦略

団 体 名	:	岩国市
事 業 名	:	観光施設事業(錦帯橋)
策 定 日	:	令和 8 年 3 月
計 画 期 間	:	令和 8 年度 ~ 令和 17 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適用企業	事 業 開 始 年 度	昭和41年度
事 業 の 種 類	観光施設事業 (その他観光施設)	施 設 名	錦帯橋
職 員 数	7 人		
事 業 の 内 容	名勝錦帯橋の日常的な管理及び将来にわたり橋を継承していくための施策を実施する。 名勝錦帯橋の維持管理及び将来の橋の架け替え等のため、入橋料を徴収して基金の積み立てを行う。		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	入橋に関する管理等を民間に委託	
	イ 指定管理者制度	なし	
	ウ PPP・PFI	なし	

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	【入橋料】大人(中学生以上)、小人(小学生) 個人:大人 310円、小人 150円 団体:大人 260円、小人 120円 【入橋料】令和8年9月改定予定 個人:大人 500円、小人 250円 団体:大人 450円、小人 200円	
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	令和8年9月1日	

(3) 現在の経営状況

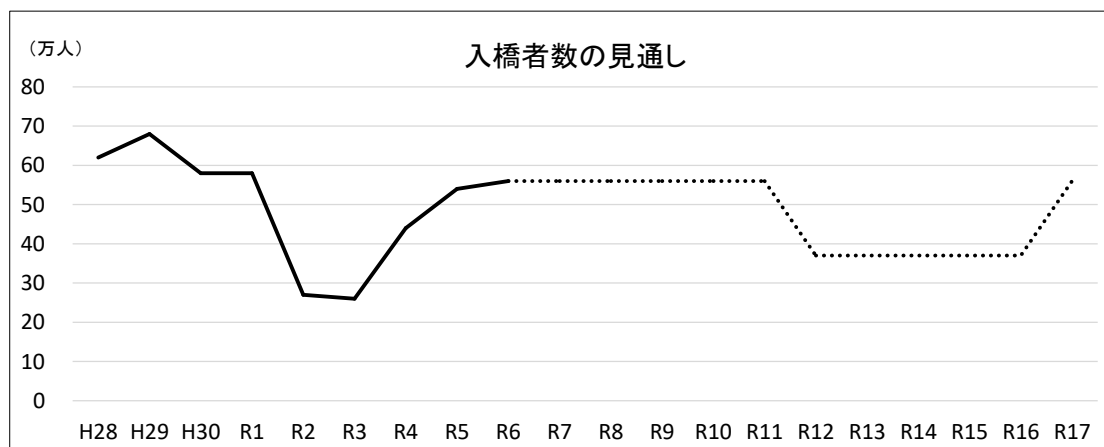
年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	R4	443,186人	R5	542,594人	R6	562,474人
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R4	113%	R5	133%	R6	117%
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R4	79%	R5	106%	R6	96%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	R4	%	R5	%	R6	%
有形固定資産減価償却率 ※過去3年度分を記載	R4	%	R5	%	R6	%
企業債残高対料金収入比率 ※過去3年度分を記載	R4	%	R5	%	R6	%

錦帯橋管理特別会計は経常収支比率が100%を上回り、黒字を計上しているため、安定的な経営状況にある。年間60万人前後で推移していた入橋者数は、新型コロナウイルス感染症等の影響により26万人に減少したが、令和4年度以降は、新型コロナウイルス感染症等の収束とともに回復し、過去2年間では、56万人の入橋者数となっている。名勝錦帯橋の維持管理及び将来の橋の架け替え等の財源を確保するため、今後も健全な経営に努める。

2. 将来の事業環境

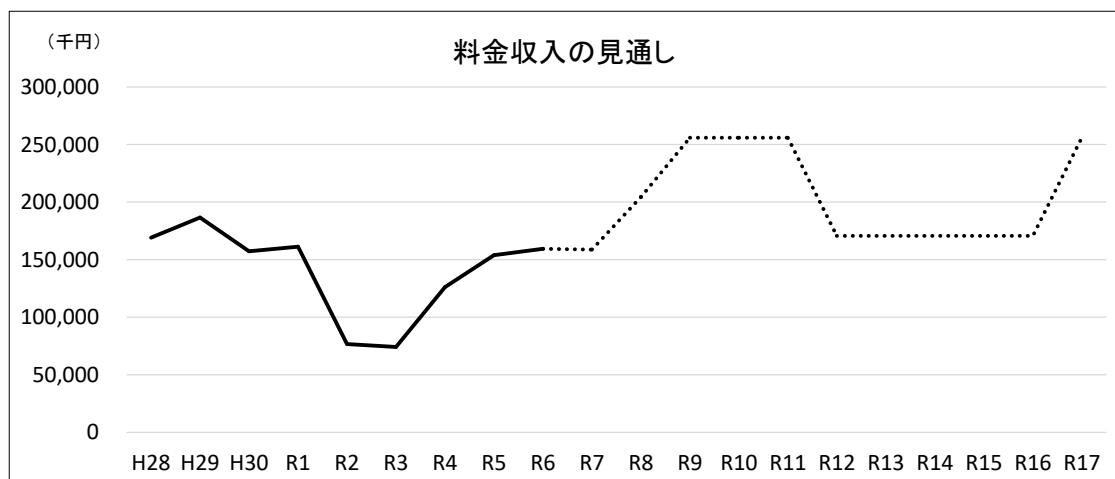
(1) 入橋者数の見通し

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により大きく落ち込んだが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の収束とともに入橋者数も回復し、令和5年度以降は、60万人を下回るものの入橋者数は安定している。今後は国内人口の減少による影響が懸念されるが、インバウンドは増加傾向にあることから、令和8年度以降も安定した入橋者数の確保を見込んでいる。なお、今後大規模な修復工事の実施を予定していることから、工事の影響による入橋者数の一時的な減少を見込んでいる。



(2) 料金収入の見通し

令和8年9月に料金改定を予定していることから、令和8年度以降は、改定による増収が見込まれる。なお、料金収入は入橋者数の増減に比例するため、令和9年度以降は、「(1)入橋者数の見通し」と同様の推移を見込んでいる。



(3) 施設の見通し

前回の錦帯橋の架け替えは、平成13年度から平成15年度にかけて実施しており、今後は橋板や高欄の部位取替などの大規模な修復が見込まれ、さらに将来的には橋の架け替えも必要となる。また、周辺施設の設備更新なども適切に実施していく必要がある。これらに備えて、基金の積み立てや補助金等の財源の確保に向けた資金計画を進めていく必要がある。

(4) 組織の見通し

平成27年度から錦帯橋に関する業務を拡充するため、錦帯橋課を設置し、職員の人件費の一部を一般会計から繰り入れて運営している。今後も事業規模に即した適正な定員を配置し、人件費の適正化に努める。

3. 経営の基本方針

錦帯橋は、江戸時代と変わらない姿を残す現役の木造橋梁である。またその独創的な橋から広がる眺望が大変優れていることから、橋を含む河川区域が国の「名勝」に指定され、市民をはじめ多くの人々に愛されている。名勝として、また、世界遺産登録を目指す上で、錦帯橋の本質的価値を損なうことのないよう適切な維持管理を行い、錦帯橋を後世に継承していく。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	創建以降、技術の継承や改良を加えながら、錦川兩岸を繋ぐ機能を維持しつつ、同じアーチ構造の形状と意匠で継承されてきた錦帯橋を確実に保存管理していくとともに、橋梁を核として名勝指定地内外の橋梁周辺の要素や環境と一体となって形成される名勝錦帯橋の風致景観を良好な状態で適切に保全する。
-----	---

・名勝錦帯橋の本質的価値を構成する要素の維持・改善に必要な整備として、橋板や高欄の部位取替などの大規模な修復を検討していく。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	入橋者数56万人以上を目標に誘客を図るとともに、入橋料収入の増加により、名勝錦帯橋の保存整備に必要な財源を確保する。
-----	--

・令和8年9月に料金改定を実施し、剰余金を基金に積み立てることで、今後の大規模な修復に必要な財源を確保する。
・森林環境譲与税を財源として活用できるよう、県内産木材等の積極的な利用を検討する。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

・錦帯橋の料金徴収等の業務については民間へ委託しており、今後も予定することで経費節減に務める。
・人件費等の経常経費の節減に務め収支の均衡を図る。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	
投資の適正化	名勝錦帯橋保存活用計画に定めた施策を着実に実施する。
その他の取組	

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	名勝錦帯橋を後世に継承していくために、社会情勢も踏まえながら、持続可能な運営方法の構築を検討する。
稼働率・利用者数	入橋者数56万人以上を目標に誘客を図り、安定的な収入を確保する。
企業債	
繰入金	人件費の一部及び森林の整備・促進等に関する費用を一般会計から繰り入れているが、それ以外の繰り入れについては原則として行わない。
資産の有効活用等による収入増加の取組	観光振興部局等と連携して錦帯橋の魅力を発信し、入橋者数の増加につなげる。
その他の取組	国からの補助金の活用に向けた協議を進めるほか、ふるさと納税制度(文化財保護及び活用事業)を活用した寄附やクラウドファンディングによる資金確保等の新たな財源確保に向けた検討を進める。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	錦帯橋料金徴収や清掃等の業務については民間へ委託しており、今後も予定することで経費節減に努める。
管理運営費	文化財としての価値の維持に必要な経費や来訪者へのおもてなしのための経費について適正な支出を行うとともに経費節減に努める。
職員給与費	事業規模に即した適正な定員を配置し、人件費の適正化に努める。
その他の取組	多様なキャッシュレス決済に対応する環境の整備などデジタル化の推進により、来訪者の利便性向上を図るとともに、料金徴収事務の負担軽減・効率化を図り、おもてなし対応の一層の充実、顧客満足度向上につなげる。

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	錦帯橋は、岩国市の歴史・文化・観光の中心であり、長年にわたり市民や多くの観光客に親しまれてきた。本施設は、観光業のみならず各方面に多大な影響を及ぼしていることから、現状のまま事業実施を継続していくことが重要であると考えます。
公営企業として実施する必要性	当該施設は岩国市の歴史・文化・観光の中心である。国指定の名勝であることから、適切な維持管理や保存活用を行っていく上で公営企業として運営する必要がある。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	本経営戦略の計画期間は10年としているが、年度ごとに進捗状況の確認・検証を行う。また、将来の架け替え等の大規模な修復を見据え、必要に応じて収支計画の見直しを行っていく。
---------------------	--

